

《国内・国際》

5/5 32年連続減少 子供15万人減

総務省は4日、「こどもの日」に合わせて15歳未満の子どもの推計人口(4月1日現在)を発表した。子どもの人口は前年より15万人少ない1649万人で、1982年から32年連続して減少。総人口に占める子どもの割合は12.9%(前年比0.1ポイント減)で、1975年から39年連続低下した。人口、割合とも同じ手法で統計を取り始めた1950年以降で最低を更新した。男女別では男子が844万人、女子が804万人で、いずれも前年より8万人減少した。都道府県別に子どもの数をみると、前年より増加したのは東京都と沖縄県。総人口に占める割合で高いのは沖縄県(17.6%)、滋賀県(14.8%)、佐賀県(14.4%)。低いのは秋田県(11.1%)、東京都(11.3%)、北海道(11.7%)の順だった。

5/9 風疹患者 激増 5000人超す

国立感染症研修所は8日、今年の全国の風疹患者数が4月28日までに累計で5000人を超えたと発表した。過去5年間で最多だった昨年1年間の倍以上になっており、厚生労働省は、免疫を持たない人が多いとみられる20～40代を中心にワクチン接種の検討を呼び掛けている。風疹は感染症法に基づきすべての患者が報告される。年初からの累計は5442人となったが、昨年は半分以下の2392人だった。妊娠初期の女性が風疹に感染すると、赤ちゃんに心臓疾患や難聴といった「先天性風疹症候群(CRS)」が起る恐れがある。

5/13 親の介護で離職経験 男性13%、女性27%

男性の13.4%、女性では、27.6%が介護などを理由に仕事を辞めた経験があることが12日、公益財団法人・家計経済研究所の調査で分かった。未婚者の増加や、頼れるきょうだいや身近にいない人が多いことが背景にあるようだ。調査では、在宅介護に掛かる自己負担額も尋ねた。1割負担の介護サービス料利用に、介護食やおむつ代などを加えた平均額は月約6万9千円だった。

5/17 大卒就職率93.9%に改善 男子悪化、女子下回る

厚生労働、文部科学両省は17日、今春卒業した大学生の就職率(4月1日現在)が前年同期比0.3ポイント上昇の93.9%だったと発表した。2年連続で改善したが、男子の就職率は悪化し、5年ぶりに女子を下回った。一方、文部科学省が同日発表した高校生の就職率(3月末現在)は1.0ポイント上昇の95.8%。3年連続の改善で、1993年3月以来20年ぶりの高水準となった。大学生の調査は、国公立大62校の4770人を抽出して実施。就職希望者は全国で39万4000人、実際に就職できたのは37万人と推計している。就職率は男子が1.3ポイント低下の93.2%、女子が2.1ポイント上昇の94.7%だった。文系は0.1ポイント上昇の93.4%、理系は1.6ポイント上昇の96.2%。地域別では、関東が95.8%で最も高く、九州が90.6%で最も低かった。

《県内》

5/3 体力テスト全国下回る 筋力や柔軟性で課題

文部科学省が小学5年と中学2年を対象に実施した2012年度の全国体力テストで、県教委は県内の結果をまとめた。50メートル走や握力など8種目の成績を得点化した体力合計点の県平均は、小中学生の男女とも全国平均を下回った。反復横とび、50メートル走、20メートルシャトルランは小中全てで全国平均を上回った。中学のみの持久走でも、男女とも上回り持久力と敏しょう性の高さが目立つ一方、握力や上体起こし、長座体前屈、立ち幅跳びは、いずれも全国平均を下回っており、筋肉や柔軟性などで課題が見られる結果となった。運動習慣調査では、運動部やスポーツ少年団に所属している児童生徒は小学女子以外では全国平均を上回り、小学男子72.7%、同女子44.5%、中学男子91.9%、同女子67.0%。授業以外で週3日以上運動する割合も全国平均より多かった。

5/15 GW岩国錦帯橋空港 平均搭乗率79.9%

全日空山口支店は、大型連休中の岩国錦帯橋空港の羽田線の利用状況をまとめた。1日4往復の平均搭乗率は79.9%。同社の国内線126路線の平均搭乗率(63.9%)を大きく上回り、全路線の中で10番目に高かった。利用者数は、岩国発が5837人(搭乗率78.5%)、羽田発は6047人(同81.3%)。岩国発は4～6日、羽田発は2、3日の便がほぼ満席だった。